

平成 31（令和元）年度近江八幡市子ども・子育て会議
第 1 回教育・保育給付部会（要録）

日 時：令和元年 8 月 2 日（金）午後 2 時から
場 所：ひまわり館 2 階 研修室 1・2
出 席 委 員：◎久家 昌代委員、○田中 裕喜委員
浅井 雅委員、中井 佳世子委員、福永 利明委員
小西 ひとみ委員、見島 めぐみ委員
（欠席）北 拡大委員、平井 徹委員、大野 康記委員、寺村 浩委員
◎：会長等、○：副会長等
議 題：（1）部会長の選出
（2）教育・保育の提供区域及び量の見込み

会 議 要 旨

- 教育・保育の提供区域は、全市 1 区とする。
- 教育・保育の見込量は、次回以降の部会においても引き続き検討する。

会 議 内 容

1 開会

2 あいさつ（幼児課長）

3 議題

（1）部会長の選出

- 部会長：久家委員
- 職務代理者：田中委員

（2）教育・保育の提供区域及び量の見込み

事務局から、教育・保育の提供区域及び量の見込みについて説明した。

委員	2 号認定の（幼稚園）というのはどのようなことか。
事務局	2 号認定（幼稚園）は、両親ともに月 60 時間以上就労し、幼稚園を希望されている方。
委員	駅前の大型マンションなど、今後乳児さんや幼児さんが増えていくと思う。この 2019 年度の確保と書いてある人数までは、この見込量から実績が増えても保育所や幼稚園に入れるという見込量か。マンションや住宅がたくさん増えているので、その辺りを考えての数字なのか。
委員	人口推計の中に、今までの宅地開発といったものは含まれているが、今後の宅地開発がすべて十分に見込めているとは限らない。また、宅地開発の場合、すべて市外からの転入ではなく、市内への異動の場合も多いと聞いている。委員からの意見を聞きながら、見

	込量を検討していきたい。
委員	2019年の確保の数字は、備考（今後予定）の園の数字を入れての数字か。
事務局	2019年の確保の数字は、今年度4月現在の利用定員数のため、備考の園の数字は含んでいない。次回、確保の量を検討するときに、数字を記載させていただく。
委員	今年度4月の段階で待機児童はいるか。
事務局	平成31年4月1日で41名となっている。
委員	資料の1号認定が（認定こども園及び幼稚園）となっているが、認定こども園は短時部でよいか。
事務局	そのとおり。
委員	2019年の0歳児の定員が187で、実績は129。1、2歳の669というのは、今の0歳児の実績を踏まえて見込みが出ているのか。
事務局	1、2歳児の実績が4年間で100人ほど増えていることを踏まえて、量を見込んでいる。他の年齢でもいいえるが、人口推計によって計算しているため、見込量として減っている部分もある。
委員	3、4、5歳が減っているということか。1、2歳の例えば長時部の人は、そのまま推移していくのではないか。
事務局	見込量については、ニーズ調査の結果から修正している。1、2歳児は、育休制度の普及により保育所の入所者が増加傾向にあるため、修正した。3、4、5歳児は、ほとんどの方が幼稚園や保育所を利用されている実態に基づき修正した。1、2歳児とは修正方法が異なる。また、人口推計の見込みとして、3、4、5歳児は大きく減少が見込まれているため、見込量も減っている。
委員	確保の数字が実績を上回っていると思うが、待機児童の41名というのはどのような理由か。
事務局	1歳児は、申込みが増え、特に待機が多い。3歳児は、現状定員を超えて受けており、こちらも申込みが多い。
委員	学年ごとに偏りがあるということか。
事務局	そのとおり。0歳児は、確保は187とあるが、実績は平成30年度末で129。0歳児は、一斉募集後も、年度当初、園によっては空いている状況だった。
委員	桐原東こども園はどのような状況か。
事務局	桐原東こども園については、令和3年度開園予定。
委員	それは確定か。
事務局	場所の報告を議会にも行い、令和3年4月開園に向けてスケジュールを組んでいる。現状、土田町地先に場所が決定し整備を進めているところ。順次、桐原幼稚園の保護者や地域に対しての説明会を9月上旬に計画している。
部会長	教育・保育の提供区域及び量の見込みについては、確保の量及び確保策と併せて第2回以降も引き続き検討していくということによろしいか。
委員	（了承）

